



弾劾徹底疑獄

頭から腐った

自民党

国民は本当に怒っている

リクルート疑獄は、政財・官界の中樞をまきこんだ戦後最大の疑獄事件である。

莫大な不正金を、自らの特権的地位を利用して、得ていたのである。

現在、多くの国民は腹の底から怒っている。

本人、秘書、縁戚人名義で、リクルート社から未公開株三百万株、一五九億円を譲渡された国会議員は、中曽根、竹下や公明・民社の三役を含めて十七人に及んでいる。

疑獄発覚以来八か月余り経つが、次から次へと不正が暴露されてきている。

濡れ手でアワをつかむ政治家をあぶり出せ！

彼らは、庶民感覚では到底考えられないような

シッポに火がついたことを悟り、三人の関係関係の首をすげかえてトカゲのシッポ切り真相隠蔽にやっきとなっている。

国民には『消費税』という重税を課せておきながら、テメエらは不正に金を入手している。許せネエ！』という声がまきおこっている。

中曽根

分割・民営化の裏で

「濡れ手でアワ」

参院福岡補選、大分市議選、北九州市議選、宮城県知事選を見よ！国民はかつてなく反自民の意

疑獄の最大の手下人 中曽根・竹下をひきずり出し、真相究明、反動自民党打倒へ突き進もう！

沖繩在住の主婦(平良悦美さん)の主張

『元号』問題を考えよう

『歴史は天皇のものじゃない』

次に紹介する文章は、「婦人民主クラブ」という新聞に寄稿されていた平良悦美さんという沖縄在住の主婦の方の「元号」と対決している姿が書かれた文章です。

元号は一切使いません。歴史は私たちのものです。役所でも、銀行でも印刷された元号は消します。国民健康保険証の家人の生年月日も書き直させています。四番目に育っている息子が中学、高校とも卒業証書を天皇曆からキリスト曆に書き換えてもらって受け取りました。かなりの悶着に耐え通したようで、親としてはかえって驚きで

す。はじめて受け取る運転免許証の生年月日が元号で刷りこまれていることにこだわって、公安の窓口で異議を言ひ、弁護士に相談にいったらしいことも知りました。今、名古屋で暮らしている息子の一人は住所の「昭和区」にこだわりの、必ずカッコに入れるようにと言います。

疑惑の株が流されたのは中曽根が首相の時の八四年十二月から八五年春にかけてである。中曽根は一方では「ホトケの顔」をして「政治倫理の確立」、「政治の浄化」をが鳴りたて、国鉄労働者に対してはヤミ・カラキャンペーン、「国鉄労働者国賊論」をあまり分割

われわれ国鉄労働者こそ、リクルート疑獄弾劾に起って闘う権利と義務がある。われわれの闘ってきたことは全く正義であった。

不当解雇撤回・清算事業団闘争勝利・JRの安全無視、強権的労務支配をスト体制を強化して打ち破り、そうした闘いと同時に竹下打倒の闘いを強化しよう！

盗人タケダケしいとはこのことを言うのだ。分割・民営化が国鉄労働運動破壊としてあったというこのみならず、分割・民営化そのものが国民の共有の財産 国民の利